

—農場管理を“見える化”し、食の安全を確保する最新手法 GAP—

JGAP 青果物 2010 英語版の発表

について

日本 GAP 協会（理事長：木内博一）は、このたび JGAP 青果物 2010 の英語版を正式発表しましたので、ご報告致します。ホームページ（<http://jgap.jp/>）で全文をご覧いただけます。

<p style="text-align: center;">JGAP Japan Good Agricultural Practice</p> <p style="text-align: center;">Control Points and Compliance Criteria</p> <p style="text-align: center;">Fruits and Vegetables 2010</p> <p style="text-align: center;">Issue date: 26th May 2010 Certification starts: 1st July 2010</p>	<p>JGAP は現在、全国に 1,749 認証農場あり、日本で最も普及している GAP 認証制度です。JGAP は日本の生産環境、社会環境にもっとも適した GAP であるということを開発コンセプトにしており、日本の農場や JA 生産部会等の品質管理・経営改善に利用されております。</p> <p>日本産農産物の輸出先に、日本の農場管理の良さを伝えることを目的に、このたび JGAP 青果物 2010 について英語版を発表しました。今後、JGAP 茶、JGAP 穀物についても英語版を発表していく予定です。英語版の発表により JGAP 認証農場が海外進出する際にも、現地に JGAP を活用した日本流の農場管理を導入することが容易となり、日本の農業者の活躍の幅を広げることになると考えております。</p> <p>また JGAP 英語版は、日本企業が海外から農産物を調達する際に、海外産地が適切な農場管理を実践できているか確認するためにも利用されることが想定され、日本の消費者に安全な農産物・食品を届けるためにも貢献できると考えております。</p>
--	---

また、ドイツの GLOBALGAP との間では「GLOBALG.A.P. Inspection Guideline for JGAP producers」を共同で発行することとなり、作業を続けております。これは近年、海外で広がる GFSI 承認制度の点からも有効と判断されました。

この新たなガイドラインの作成は、JGAP 認証農場が必要に応じて GLOBALG.A.P. 認証を取得しやすくするための工夫です。GLOBALG.A.P. 以外の認証制度が普及している北米などにおいては、米国 FDA 食品安全強化法の GAP への対応などについても同様の対応サポート文書を作成し、

----- 特定非営利活動法人（NPO 法人）日本 GAP 協会 -----

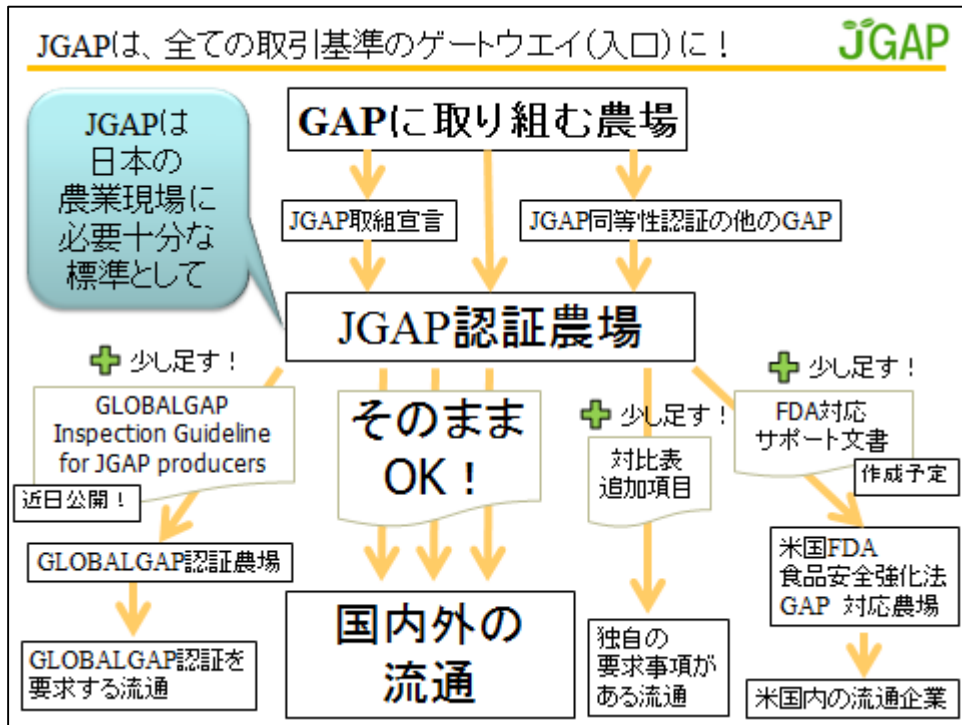
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-29 日本農業研究所 4 階

TEL: 03-5215-1112 / FAX: 03-5215-1113

NEWS RELEASE

米国向け輸出において農業者が GAP を要求された際の利便性を高める予定です。

日本 GAP 協会は 2006 年に、日本の業界標準 GAP を構築することを目的に設立されました。JGAP 認証さえ取っておけば、買手側・取引先からの多様な要求に農業者が対応しやすいビジネス環境づくりを目指し活動しています。



日本 GAP 協会 第 8 期事業計画で使用している図より

問合せ先：横溝 TEL 03-5215-1112 FAX 03-5215-1113 E-mail: info@jgap.jp

(取材を希望される場合は、下記を記入の上、FAX または E-mail で送付ください。)

御社名 _____ 部署名 _____ 御名前 _____

住所 _____ 電話番号 _____